

発行所
蒲郡市老人クラブ
連 合 会
教 育 部

生き生き大祭り

第29号

◆第23回高齢者レクリエーション大会(11月7日)◆

参加者 市内11地区60老人クラブ他、参加人数約1,100人
大会出場者46組326人



主な内容

- ◆表紙.....1頁
- ◆あいさつ.....2頁
- ◆健康スポーツ部.....3頁
- ◆女性部の活動.....4頁
- ◆会員のことば...5、7、9、10、11、12頁
- ◆写真だより.....6、8頁
- ◆市老連の主な事業.....12頁



平成15年度 蒲郡市老人クラブ連合会役員名簿 —— 蒲郡老人クラブ連合会 ——

監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	会計	副会長	副会長	副会長	会長
倉橋市三	竹内光一	村上悦男	吉見数雄	鈴木俊悦	野田一人	小田善一	竹内種吉	石田昭一	小林すみ代	草次清	吉見敏雄

連絡先

老人福祉センター寿楽荘内

蒲郡市大塚町山ノ沢13-14
TEL・FAX (0533)59-7411

蒲郡市老人クラブ連合会事務局

年頭のあいさつ



蒲郡市老人クラブ連合会

会長 吉見 敏雄

新年明けましておめでとうござ
います。会員のみなさまには清々
しく新年をお迎え、ご健勝のこと
と心からお祝い申し上げます。昨
年は総会において数多の事業承認
を賜わり、それぞれの部会員のみな
さまの手により、実施計画の立案、
具体化と頑張っていたいただき、
クラブ員皆様の絆を深め、仲間意
識を高め、次への発展へと思考を
深め蒲郡市老人クラブ連合会の活
動運営に肉付けのできたことは会
員みなさまのおかげと厚くお礼申
し上げます。さて新春を迎え、一
月九日「寿楽荘カラオケ大会」一
月十三日「熱田神宮初詣」三月七

日「福祉まつり」と大きな行事が
計画されています。会員のみなさ
ま、この行事をとおして、私達ク
ラブ活動の目標である、健康づく
り活動、友愛活動、伝承活動を幅
広く推進されることを念願申し上
げます。おわりに臨み、会員みな
さまのご健勝とご多幸を心からお
祈りし、併せて蒲郡市老人クラブ
連合会の発展に、なお一層のご支
援を賜わりますことを切に望んで
新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のあいさつ



蒲郡市長 金原 久雄

新年明けましておめでとうござ
います。会員の皆様には、健やか

な新春をお迎えのことと心からお
喜び申し上げます。日頃、市政に
対するご理解とご協力を賜わり、
厚くお礼申し上げます。おかげを
もちまして、「市民の皆様の声を
大切にする市政」を着実に推進す
ることができました。心から感謝
申し上げます。
今年には蒲郡市が誕生して満五十年
という節目の年を迎えます。市民
の皆様いろいろな記念事業を企
画し、また催事に参加していただ
き、大いに記念すべき年を祝福し
たいと考えています。
昨年十月に実施されました市長選
挙において、無投票ではありません
でしたが市民の皆様のご信任を頂く
ことができ、私の二期目の市運営が
始まりました。本市も依然厳しい
財政状態が続きます。市政全般に
わたる施策の見直しや、歳出抑制
を行ないながら、少子・高齢化に
対応した福祉や教育、さらには環
境問題など市民生活に直結する分
野の取り組みを優先的に進めてま
いる所存です。また、平成十二年
四月にスタートした介護保険制度
は、多くの介護を必要とされる皆
様にご利用いただいています。引
き続きより質の高いサービスの提

供ができるよう、また時代、時代
の要請に応えられるよう制度の充
実を図ってまいります。一方、健
康でお元氣な高齢者の皆さんの対
策としては、安心して日常生活を
過ごす事が出来るよう、また生甲
斐づくりや社会参加が促進される
ように、転倒予防や介護予防の教
室、木工・陶芸・手芸などの講座
の開催、健康づくり活動など、高
齢者の皆さんのニーズや生活実態
を的確に捉え、必要とされるサー
ビスの充実、提供に努めてまいり
ます。本年も創意と工夫を重ね、
経験豊富な皆様方のお知恵をお借
りしながら、市民福祉の向上に勤
めてまいります。変わらぬご支援
・ご協力をお願い申し上げます。
新年のご挨拶といたします。

賀正



健康スポーツ部

高齢者に適した 生涯スポーツ グラウンド・ゴルフ

健康スポーツ部書記 石川 荘三

グラウンド・ゴルフは、簡単なルールで高度な技術を必要としないため、初心者でもすぐに取り組めるスポーツであります。他のスポーツにない特長は人数制限がないこと、全員が仲良くプレイできること、誰もが平等に上位入賞のチャンスがあることなどで、最終ホールまで気持ちを集中してプレイできることが最大の魅力であります。

そのため今や、高齢者のスポーツとして全国に普及・定着しつつあります。

市老連主催のグラウンド・ゴルフ大会は、一昨年から年に二回（六月と十一月）に浜町グラウンド等

で開催されます。この大会は、市老連の会員であればどなたでも参加でき、毎回市内の各地区から大勢の方が参加されています。大会の賞品としては、上位入賞者賞、ホールインワン賞、組別BB賞、無差別に当たる特別賞など多くの賞があり、賞品を楽しみにしながらプレイできるとともに、プレイを通して仲間との交流が深められ大変うれしく思っています。

昨年度の大会では、会員の皆様のご協力をいただき大変さわやかで盛大な大会となりました。本年度もさらに楽しい大会としたので、会員の皆様のごぞってご参加をお待ちしております。



第3回グラウンド・ゴルフ大会結果

平成15年6月5日(木)浜町グラウンド
ゲーム参加者206人

Aゾーン	地区		Bゾーン	地区
市川 貞夫	小江	優勝	杉山 明夫	蒲郡
星野 訥雄	小江	2位	片山 五郎	形原
尾崎すま子	形原	3位	朝倉 勇治	北部
市川 みつ	形原	4位	松山ナツエ	蒲郡
福田 和夫	形原	5位	石川 荘三	北部
三林 栄次	東部	6位	鈴木 直之	形原



▲ 第4回市老連グラウンド・ゴルフ大会開会式(11月5日)

第4回グラウンド・ゴルフ大会結果

平成15年11月5日(水)浜町グラウンド
ゲーム参加者191人

Aゾーン	地区		Bゾーン	地区
松岡 昭	形原	優勝	市川 和枝	形原
松坂小夜子	北部	2位	鈴木 喜好	塩津
榊原千代子	三谷	3位	小林 浪枝	形原
三林 栄次	東部	4位	加藤八重子	蒲郡
鈴木 和夫	蒲郡	5位	海藤 松寿	形原
吉見せつ子	形原	6位	草次 清	塩津



▲ 第3回市老連グラウンド・ゴルフ大会
最高齢の小田房男91才(6月5日)

第4回市老連グラウンド・ゴルフ大会
Aゾーン優勝 松岡昭
Bゾーン優勝 市川和枝(11月5日)



女性部の活動



女性部副部長 伊藤すみ子

市老連の女性部は、昨年引き続き、今年も健康教室を実施しています。

部員の方々は、月に一回(第三月曜日午後一時三十分から)の体操を楽しみにしており、雨の日でも大勢の出席者が有り嬉しく思っています。会場が少し狭く感じる位ですが部長を始め部員は楽しんでるようです。練習の成果としては、高齢者レクリエーション大会に「よさこい鳴子踊り」を先生(柴田功呼)と部員とで舞台及び会場をいっぱいに使い頑張って披露しました。楽しく踊れたと思いますし、皆さんからも良かったね、良かったねと言われ続けており大成功であったと思っています。

また、一人暮らしの高齢者の皆様には、環境に優しい魔法のたわしをアクリル糸で編み、約三

百四十人の方にプレゼントすることが出来ました。少しは役にたったかな？

十六年度も、健康教室を続けますので多数のご出席を、お待ちしております。

これからも市老連女性部の活動として良い案が御座いましたら、ご指導を賜りますよう、お願い致します。



▶ 女性部健康教室風景 (毎月第三月曜日)



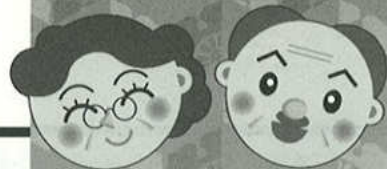
▲ 女性部によるアクリルたわし作り(9月8日)



▲ 女性部120人による「よさこい鳴子踊り」(11月7日)

H15年度 女性部健康教室参加人数

4月101人・5月113人・6月116人
7月115人・8月102人・9月121人
10月114人・11月98人



会員のつとば

老いの埋火

大塚地区 稲石定子

公民館活動部活のカラオケ木曜会に入れて頂き、楽しいひと時を過ごしております。鳥取砂丘という歌詞の一部「失くした後でしみじみ知った、あなたの愛の大きさを：愛されぐせがいつしかついて愛することを忘れてた」と鸚鵡のように繰り返して歌いながら、仕事に興味に欲張り過ぎて主人にも家族にも思いやりがなかったと寡婦となった今しみじみと反省しているものでございます。

外旅行を計画、実行して来ましたが、体力、気力共に充実していた頃でございませぬ。旅詠と現在の生活詠の一部、字並べ遊びをどうぞ御批判下さいませ。

○天秤棒担ぐは女ばかりにして各所にスローガン晩婚奨励 中国

○摩天楼八十六階吹き上ぐる風に一瞬わが婆娑羅髮 アメリカ

○人魚姫まこと小さし陽焼して戯れ登る子らよりも尚 北欧

○突如窓に迫り来たれるピラミッド偉容に重き旋慄走る カイロ

○共に撮りたる黒衣の女と埴馬像安否や如何にバクダットの空

○読みたき本に栞挟みて日記書く

摘果作業に迫るる日々の

○晴耕雨読は今も緑無くもの書きは真夜の目覚めの静寂の中あまりにも残酷なテレビ、新聞のニュースは目を覆いたくなりませぬが、十五人の歌謡仲間もいてよい刺戟もあり、生きるためのエネルギーになつていきます。巡り会った多くの人々との触れ合いを大切に生きようと思ひます。

○忘却の日毎募るを侘しめば老いの埋火もゆる時あり

介護予防教室に

参加して思う

三谷地区 本多敏雄

私は、昨年と一昨年三谷地区で高齢者を対象にした介護予防教室に参加させて頂きました。特に感じたのは、高齢者には転倒による骨折が非常に多いため、筋力歩行時における歩行下肢バランス能力を維持する事が何よりも大切である事がわかりました。最近では、寿命が延び多くの人々が長生きするようになった。

しかし、長生きしても「寝たきり」や「痴呆症」になったのではという不安が囁かれています。そこで、高齢者が快適な日常生活を送るためには、常日頃からある程度の運動を続け、体力を補つておく事が必要だと思ひます。特に、七十五歳以上のお年寄りは、運動不足になる傾向がありますので、その対策の心構えが必要であります。また、適度な運動は、糖尿病、高血圧、心筋梗塞などの成人病の防止にも効果があるようです。私たちの筋肉は、使用しないと益々萎縮して足から老化が進むと言う事は皆さんも解っている事と思ひます。しかし殆どの人が行動に移せないのが実情ではないでしょうか。そこで、例え一日の中で僅かな時間を見つけ短い距離でも歩くことや柔軟体操を中心に体を動かす事により老化防止、脳の活性化、肩こり予防等に効果があると確信しております。本市においても介護を受けておられる方が大勢いるようでありませぬが、高齢者の皆様が施設のお世話にならないように日々健康で暮らせるための運動の工夫が大切だと思ひます。教室は、毎月一回で全五回にわたる勉強会



写真だより part1



平成14年度クラブ大学講座 (2月3日)



平成15年度総会 吉見会長あいさつ (4月25日)



平成15年度市老連学習会 (10月6日)



第4回市老連グラウンド・ゴルフ大会 (11月5日)



第23回高齢者レクリエーション大会 (11月7日)

でその内容としては、メロディーの音色に合わせた基礎的な体操や健康に関する講話が主なもので、有意義かつ楽しい介護予防教室でありました。特に、若い女性の保健師さん達が主体的で生き生きと活躍しておられる姿に感動させられました。私は、この教室を契機にして今後の残された人生を、さらに健康に留意し心豊かに、信念と希望に溢れた日々を暮らせるように、新たな気持ちでさまざまな活動を頑張つて続けてまいりたいと思つておりますので今後とも皆様の一層のご支援をお願いいたします。

或る日の思い出

府相地区 倉橋市三

数日前から、急に冷え込んで来た十一月中旬に、今年度から始まった記念すべき第一回東三河老人クラブグラウンド・ゴルフ大会に出場する事になった。早朝から、参加者を乗せた寿楽荘のバスに揺られ、ちらほら始まった紅葉を見ながら約一時間の行程で着いた所は、新城市の豊川左岸、桜淵公園

内のいこいの広場である。広い駐車場には、各地から集まった車が所狭しとばかりに多数駐車していた。まもなく開会式に続いて組み合わせたの発表があり、番号を確認して所定のスタート位置を捜すのに、広い場所のうえ選手が多すぎて右往左往してしまつた。やつと事で一番ホールにたどりつき、競技の開始となつたが、打つたボールは、何時もと違つた感じで思つたように球が飛んでいかない。組の方々が全員「上がり」となつても私一人だけであつちに打つたり、此方に来たりで代理出場とはいへ、日頃の練習不足が絵に描いた様に結果として出てしまつた。しかし、私は、大会に参加して知らない方々と一緒にプレーが出来た事、また、皆さんの地域のお話が聞けた事などで大変良かったと思つています。メンバーは、新城二人、音羽、鳳来、各一人の計五人である。通常の組は七人であるが、二人も少ないので他の組よりホール毎のプレーが早く終わり、前の組の終わる迄の間に競技を離れて、他地域での季節がら紅葉の時期や、春の花見の利き酒会、豊川の筏流しなど、たわいもない話

に花を咲かせながら、コースがあげばプレーをする繰り返しであつた。気持を引き締めたり、弛めた変化のある楽しい一日を送らせて頂きました。笑つて歩いて、運動が出来て、体に良いとなれば大変結構なことである。この様なスポーツをこれからも長く続けて行く事が出来れば良いかと、そんな気のする今日この頃であります。何はともあれ人生は健康で、元気に笑つて楽しく暮らせればそれがないよと思ひます。

不思議

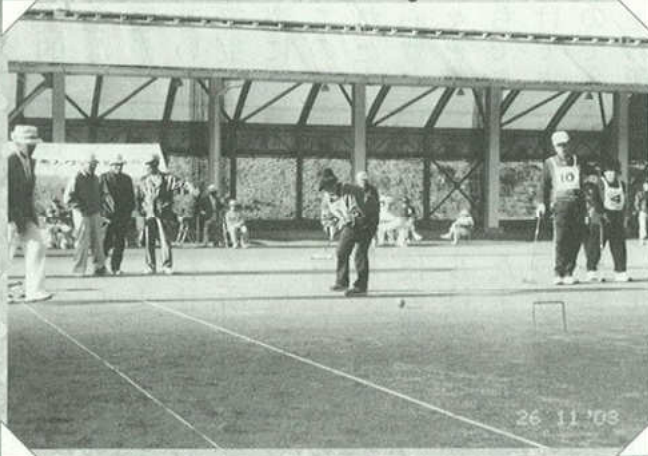
小江地区 伊賀義昭

世の中には、不思議なことがあるもので、その体験の一部を披露します。先日の朝、目を覚ますと三時三十分、ウトウトして時計を見ると、四時四十分、寝付かれないままに考え事をしながら少々眠つたかふと気が付いたら五時五十分であつた。このままなら次は、六時六十分に目が覚める計算となるが、“それは、無いよなナ”と思ひながら起きた事がある。また、掛川城を見学に出掛けたある日に

は、オレンジロード料金所の先に友達のA君の車が止まつていた。「どちらまで」と声をかけたら「岐阜城まで出掛けるので、今友達を待つて居るところだ」、「じゃあ気を付けてナ」と別れた。そして掛川の帰りに引佐の竜ヶ岩洞を見学するため、駐車場へ入つた。「あれ」確かこれはA君の車だ、岐阜から三ヶ日まで運転して来るのは随分元気だな「逢えるかもしれないな」と思ひながら入り口まで行つたが、あいにく洞内は一方通行であり、出て見れば、駐車場のA君の車は、すでに出発した後であつた。帰路の夕方五時頃、再びオレンジロードで料金を支払い中に後方からの車がライトをパッシングしたので振りかえつて良く見ればA君の車である。「さよなら、おやすみ」つと云つてその日は別れた。次の日の朝、形原の魚市場で「ポン」と肩を叩かれ振り向けばA君である。「おはよう、昨日は、竜ヶ岩洞でお前の車が横に止めてあつたナア、出て来るのを待つて居ようと思つたが先に帰つたヨ」と言つていた。同日は、十六日で八百富神社の月次祭が十時に始まるため九時半頃に竹島橋



写真だより part2



第20回東三河老人クラブ ゲートボール大会 (11月26日)



第1回東三河老人クラブ グラウンド・ゴルフ大会 (11月18日)



第1回東三河老人クラブ グラウンド・ゴルフ大会 (11月18日)



第20回東三河老人クラブ ゲートボール大会
3位入賞の府相チーム (11月26日)



第1回東三河老人クラブ グラウンド・ゴルフ大会
4位入賞の石川荘三 (11月18日)

を渡り島に着いて、ふと見ればお宮の石段をA君が降りてくる。

「いつもよくお参りに来るヨ」とA君いわく。「だけど、七年間もお参りに来ているが今迄に一度も会った事無いヨ」。と軽い会話を交わして別れた。さらに正午過ぎ昼食に蕎麦も食べようと思いい西田川沿の蕎麦屋に入ってメニューにあるものを注文していると、またもやA君が顔を出した。「お前は、俺の行く所、行く所へいつも来るナ」と二人で大笑いした。連続して二日間に渡り一日に三回も同じ人物に出会うことは、なんとも不思議で気持ちが悪いくらいである。また、明日にこんな出合いがあったら大笑いだナ。

観光ボランティアガイドで熱海の全国大会に参加して

蒲郡地区 住山茂保

平成十五年十月二十一日、二日の両日に前記の大会が開催され、昨年の別府大会の参加者は約七百人でしたが、本年は約八百人の参加者があり盛大に開催されま

した。

蒲郡市からは六人が参加者し、開会式や基調講演の後、六つの分科会に分かれて意見発表が行われました。私は、第一分科会の「自然景観等による地域活性化とボランティアガイド活動」への参加でした。意見発表では、ボランティアガイドの方々が精力的に活動を続けていても、早急に地域の活性化につながることは難しいと云う発表が多く出され、特記する意見は見当りませんでした。しかし、印象に残った話は、熊野古道に関するガイドの人が「来年六月頃、熊野古道は世界遺産に登録される予定ですが、もしそうなると十数人のボランティアガイドだけでは多数の観光客に対応出来なくなると思うがどうしたらよいか」という質問がありました。それに対して、青森県から参加した助言者の方が「白神山地が世界遺産になってからは、毎日何十台という観光バスが往来するようになり、道が狭くて交通に支障をきたすので町役場に「道を広くしてくれ」と頼んだら、「道に合った小さなバスで来るように」と言う回答だけで何もしてくれなかった。しかし、十数

人のガイドだけでは対応出来ないので、行政に頼むしか方法はないね。」という助言があったことでもあります。

大会後、熱海市内を散策するグループに参加でき、おかげで地元ガイドさんの案内でしたので熱海の事を色々質問する事が出来ました。

散策で目に付いた「起雲閣」は、東武鉄道社長、根津嘉一郎の別邸を改造した旅館であり、蒲郡市の常磐館と同様に志賀直哉・山本有三などの文人が数多く訪れている有名な旅館でした。しかし、今では倒産して観光名所として入場料三百円で一般に開放されています。ボランティア活動の範囲の難しさと熱海の栄枯衰退を肌と感じた大会でありました。

高齢化社会と電化社会

東部地区 三林栄次

近年目立つ現象として電化社会がある。字を書くのも料理をつくるにしてもまさに電化？電化の現代である。また、会話にもしかりで昔は相手の顔を見て世間話

をしたり、笑ったりして楽しんだものだがそれが現代では、携帯電話と云うものに取って替られ相手の顔も見えず、表情も分からないまま用件のみをメールで送信して終わりとは何とも味気ない時代である。食事にしても、電子レンジと云う便利な物が出現し、冷凍食品や冷めた物等がアツと云う間に温かくなるなど、まさに文明の利器であり、時の移り変わりの早さには目を廻さんばかりである。しかし、私達高齢者だからと云ってそれを無視する事はできないので、それなりに電化社会に向って少しでも近づける努力をし、時代の変化に取り残されない様にしなければならぬ。

それには、まず心身共に健康を保ち電化社会に立ち向うと云う姿が大切だと思います。

現代においてパソコンと云う物は必要不可欠なものでありなかなか難しいものであるが、私達もこれを避けて通らず向かって行く必要があると思う。暇を見付けてパソコンの前でキーをたたいていけばポケ防止になるとも聞く、まさに一石二鳥である。また、天気の良い日には外に出てスポーツ等で体

を動かしたり、散歩をしたり、若い年代の人達とも交流を図り沢山の仲間を作り一日一日を有意義に過ごしたいと思えます。

今後においても、かなりのペースで高齢化社会と電化社会が進む事と思われませんが、私達が長年に関わり学んで来た知識や、体験を十分に生かしつつ、現代社会に向かって進んで行きたいと思う今日この頃である。

菊づくりの仲間

北部地区 吉見敏雄

盆養菊（大輪三本仕立）の栽培指導を始めて二十年近くなる。現在、蒲郡市菊の会の仲間は四十八人で、毎月一回定例日をきめて栽培技術の研究に取り組んでいる。年齢層は、四十才代から八十才代と巾が広く、男女半々である。会員の栽培歴は、世代交替もあって、現在は一年生から七、八年生とバラエティーに富んでいる。菊の栽培は園芸店でポリ鉢の五号、九号、菊の支柱、赤玉土、腐葉土、IB化成など資材を求めて、菊の苗を準備すれば入門でき、むつかしい

ものではない。後は、三本立つくり、ダルマづくり、福助づくり、懸涯づくりと栽培型を選んで、栽培テキストを参考に日々管理すれば、一年生でも十一月の「文化の日」には立派な花が咲いてくれる。菊の花は、開花している期間が長く、十一月いっぱい観賞でき楽しみも大である。会員の方が言うには「菊づくりは、一年中仕事があるって、今日は何をしようかなあ」と迷わなくてもよい、菊が仕事を与えてくれる。「菊づくりは、健康管理にたいへん良い。また、仲間との交流ができ、同好会として常に話はずむ」等々である。

菊づくりで私が一番感動するのは、発蕾期から開花期である。毎日繰り出す花弁の神秘的な動きに菊の生命力を感じ、自分も負けてなるものかとエネルギーが湧いてくる。この感動があるからやめられない。さらに、開花期ともなれば、各地で開かれる菊花展に、会員さそい合って見学に出掛け、菊の出来具合を見て次年度に向かつて栽培意欲を燃す。これが菊づくりで感じる生きがいである。

なお、菊の栽培を希望される方は、筆者まで連絡ください。

すばらしい子供たち

西部地区 山本 薫

去る九月十四日に、神ノ郷町の敬老会が開催されました。午前十時半開催、主催者及び来賓の方々、の祝辞があり、その後、引き続いて懇談会で心暖まるご馳走を頂きながらアトラクションを見せて頂きました。アトラクションでは、蒲西小五年生の児童の「ひじり山のお皿様」の紙芝居と「水戸黄門漫遊記」のお芝居が上演されました。黄門様では、悪徳商人と悪代官が共謀して三河湾の魚を買い占め、領民を苦しめて居るところへ通りかかった黄門様一行が、ご存知のとおり悪人を懲らしめる場面もありました。助さん・格さん・風車の弥七などの立回りもあり、「この紋どころが目に入らぬか」の“名台詞”もあり、子供達はこの敬老会の為に一生懸命に演じてくれました。私達は、おおいに盛り上がり全員が大喝采を送りました。素晴らしい敬老会の日でありました。また、十月九日の遠足の日には五年の生徒達は、「聖の里探検」と云うテーマでグループ毎

に地域の高齢者を訪れ昔の出来事や古話などを聞く学習会がありました。これについては、事前に学校から一人十分間程度の時間の協力依頼があり、私を含めて十一人程の方が対象となったと聞いております。当日子供達は、四、五人づつ四グループに分かれての訪問でした。最初の組は、元氣良く十一時頃に訪ねて来ましたので、昔の生活についての質問に答えてあげました。子供達は、熱心に色々な事項について聞きながら、後ろに廻って肩叩きをしてくれる子も居ました。この組が写真撮影をして帰ると、次のグループが待ちかねた様に訪れて来ました。以後三番目、四番目と順序良く続き色々な内容の質問をしてくれました。話の内容は、質素だった衣食住、電化製品の無い時代の話などが主でありましたが、子供達は一生懸命に聞き、メモを取り、肩叩きをしてくれたり、記念撮影をしたり、また、皆で別れの握手をしたりして大変楽しいひと時でした。後日、良い勉強になったと写真を添えて礼状まで届きました。私も高齢となつた今、素晴らしい子供達との交流の場を与えて頂いた事が大変

に嬉しく感謝致し居る次第であります。

残る人生珍道中

塩津地区 鈴木千卜

「冬が来たぞん、風邪をひいたらあかんヨー」「風邪をひかんようにせりんヨ。」私は、いつも自分で元氣付ける朝のウォーキングで三十分歩きます。これにより一日が始まります。今は、目が見える、耳が聞こえる、手が動く、足が動く、五体満足で幸福です。こんなに幸福でいいのかネ。まあいいか！。計画されている、高齢者レクリエーション大会に向けての毎月一回の練習、これも私自身の励みでもあり、また、一生懸命に汗を流して練習をして居るあの人の、この人、始めはみんな知らない人達だったのに、逢う度ごとに馴染みになり笑顔で挨拶する友達がいっぱい出来た。いいネ。もう何年も前からの知り合いの様に、お互いに心の通じ合う人ばかりでこれぞ老人の友である。老人のレクリエーション大会も無事に終えて来たもや来年に向けて頑張って練習

するのを楽しみに待っています。そしてお友達をいっぱい作ることは大切な事だと思えます。そして、毎週の水曜日、寿楽荘で一日お風呂に入ってカラオケを唄って、皆とお話をして美味しい物を食べて極楽です。人生生き生きなくちゃね。やっぱり人生を楽しく送るには、先ず元氣でなければあかんヨ。私は、七十四歳の「ばあば」ですが、まだまだ元氣ですよ。たこ焼き店に車で通って勤めまーす。学生さん達に「たこ焼きばあば」と呼ばれて居ます。学生さん達が毎日店にやって来て色々な話をしたりして毎日楽しく過ごしています。元氣いっぱいです。何事もよくよししたらあかんヨ。「何とかなる」さで過ごしましょう。旅行も元氣な限り参加します。ゴルフもやっています。ダンスも書道も楽しく習っています。まだまだ三十年は生きたいですよ。やりたい事はいっぱいあります。私の人生バラ色です。じゃあネ。また後程逢いまいかネ。

我が町と長寿会

形原地区 壁谷秀雄

先ず、我が町を紹介させて頂きます。行政面では、形原町第二区町内会又は、二分団と称しており、形原町の南西部に位置して、南は約三百メートルにわたり三河湾に面し、周囲は、約一、四キロメートルです。町内の世帯数は、百九十四戸、人口は七百人にも満たない形原町内では一番小さな規模であります。町民の皆さんは漁師町の面影でしょうか人情は厚く、風の良いところは誇りに思っています。歴史的には、小さいながらも松平千七百石の城下町、武家屋敷の地であり、地名としても現在もその面影を残す「東御屋敷」「西御屋敷」「三浦町」の三地域での構成になっております。中でも、三浦町は、地元の名士であります「故三浦万太郎」氏が私財を投じて、埋立地を造成され多くの町民がその恩恵に浴しています。そんな土地柄に生まれ育って今日に至っています。その間には蒲郡市へ合併時に最後の町内会長、以後さまざま町内の役職を無力量ながらもさせて頂きました。今回、前任者病氣のため急遽長寿会会長を依頼され一瞬ためりました。しかし、七十五年の人生最後のお勤

めと思い、及ばずながらお受けしました。

早いもので右も左も解らぬまま十ヶ月が過ぎ去ってしまいました。特に印象に残っているのは当初長寿会の皆様方にお会いしたとき、何と生き活きとして明るい事かと驚き目を見張る思いでした。

以上申し上げたとおりの沿革のある町内ではありますが、現在は若者と高齢者との間が二極化されているように感じています。此の土地ばかりではなく、まだまだ古い習慣も残っており、やむを得ない気もしますが時の流れでしょうか。

今、十ヶ月を振り返ってみる時、町内の皆さんの長寿会に対する認識度、また、長寿会行事に対する会員の出席率等、さまざま事項について、いまま少し頑張り二極化の解消や認識度の向上にむけて軌道修正するのも私に与えられた責務ではないでしょうか。

かかる意味合いにおいて、蒲郡市老人クラブ、並びに形原長寿会の皆様方のご支援を頂きながら目的達成の為に努めさせて頂きたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。筆を止めさせて頂きます。

「文化財めぐり」に参加して

西浦地区 丸山光義

去る、十月初旬に高齢者教室の一環として実施された「文化財めぐり」に参加させていただきました。

この日は、天候にもめぐまれ期待と緊張のおももちでバスに乗りこみ、岡崎へと向かいました。

最初の目的地である『三河武士のやかた家康館』に到着するまで、参加された方の全員が真剣に資料を見て勉強されているのを見て、この「文化財めぐり」は単なる物見遊山ではないということを実感しました。

『家康館』では、案内人の説明で三河武士とともに天下統一という偉業を成し遂げた家康の足跡を武器・文献など貴重な資料を通し感じることができました。

次の見学地の『岡崎城』は、家康が出生して、その後天下統一の拠点となった名城であり、現在では江戸時代の岡崎を紹介する貴重な資料館にもなっていました。そして、天守閣から望む三河平野

の景観はすばらしいの一言に尽きました。

岡崎の天守に登りて望むれば

大樹の丘や家康の史蹟



昼食後、三河の郷土の味、八丁味噌の醸造元である『カクキュー』の見学でした。

仕込み用の蔵を展示館として利用されているため、入館すると味噌

の香りが漂っており、大樽と積み上げられた石の一つ一つに先人の知恵と努力を感じることができました。

また、現在も昔と変わらぬ醸造方法で作られていると聞き、おおいに感心しました。

石積みの樽連なりて香り立つ
歳の重みぞ 今郷の味噌

石積みの樽連なりて香り立つ

歳の重みぞ 今郷の味噌



今回、「文化財めぐり」に参加して家康の偉大さと郷土の味八丁味噌をより身近に感じることができ、大変良い文化財めぐりであったと思います。

今後、私も先人に少しでも近づくよう人生を頑張って生きていきたいと思えます。

今日生きる
明日も生かしてくるなら
温故生きる 知新に生きる

今日生きる

明日も生かしてくるなら

温故生きる 知新に生きる

2003年市老連の主な事業

4・25	市老連総会
4～3月	女性部健康教室
5・26	ゴミゼロ運動に協力
6・5	第3回市老連グラウンド・ゴルフ大会
8・29	第38回愛知県老人福祉大会
9・18	第22回愛知県老人クラブゲートボール大会
9・20	全国一斉社会奉仕の日
10・5	第31回愛知県老人スポーツ大会
10・6	市老連学習会
11・5	第4回市老連グラウンド・ゴルフ大会
11・7	高齢者レクレーション大会
11・18	第1回東三河老人クラブグラウンド・ゴルフ大会
11・26	第20回東三河老人クラブゲートボール大会
12・16	二市四町老人クラブ大学講座（音羽町）
16年	
1・9	市老連新春カラオケ大会
3・7	福祉まつり